

医療専用車両

医療専用で使いやすいアイテムを装備



マルチタスク車両

サービスに応じて「車室空間と設備をカスタマイズ」

オンデマンド

医療サービス

行政サービス

ベース車両
ハイエースグランド
キャビン



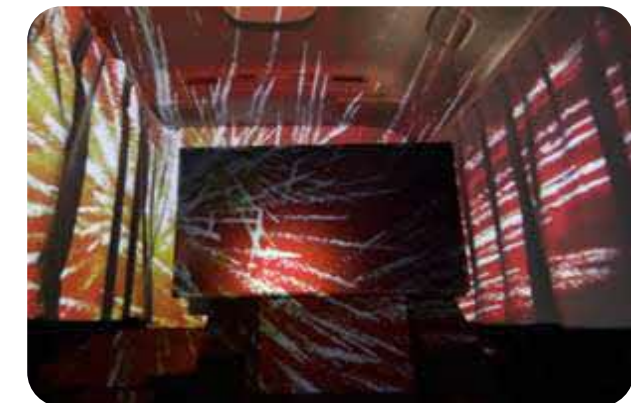
移動型窓口



移動型アパレルショップ



体験型マンションサロン



患者とは事前にオンライン診療日時を相談 予約患者のみ診療を実施



① オンライン診療日時を相談
(対面診療時)



② 診療車が医療スタッフをお迎え



③ 乗車して患者宅へ



④ 患者が車内へ乗車



⑤ 保険証等により患者確認、対面問診

⑥ 担当医をビデオ会議システムで呼び出す。



⑦ 患者情報・バイタル・問診結果を確認

⑧ ビデオ会議システムで診察



⑧-1 医師の指示の元、診察サポート

⑨ 患者、医療スタッフへ診察結果を説明
→病院・医院の医療記録に記載する。



⑩ 医師から看護師へ処置などを指示



⑪ 次回予約・診療費支払い等の説明

1. 継続的な通院



✓ 通院困難による
治療中断の防止

2. 診療時間の確保



✓ 医師の移動時間削減に
よる診察効率化

3. 訪問診療回数の削減



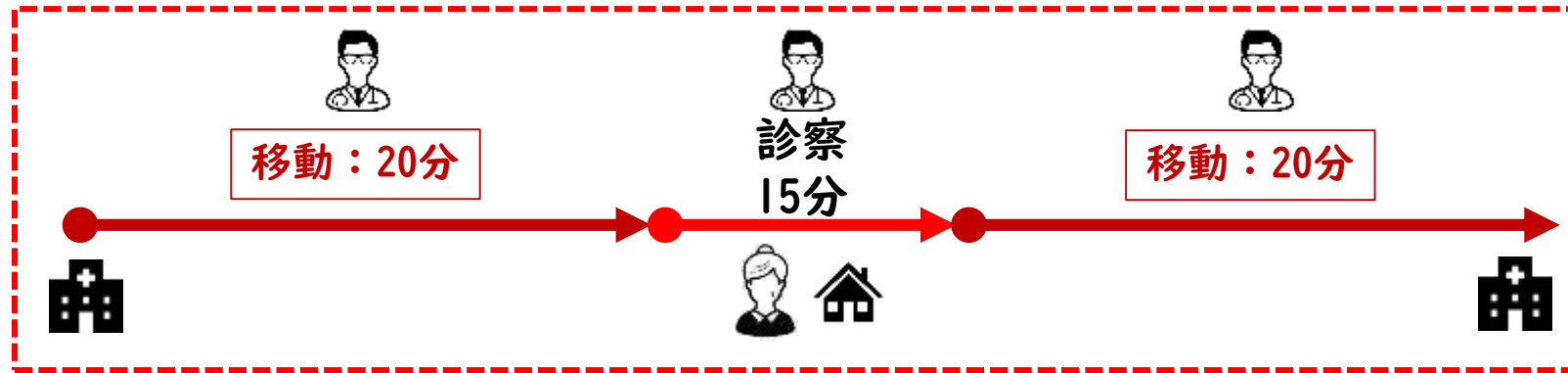
✓ 患者の状況にあわせ
訪問診療の回数調整

医師移動時間削減・診療効率UPによる地域医療機関の負担減へ

医療MaaSの導入により、診療業務の効率化を実現

定期的な診療の**数回**を**オンライン診療**に置き換え

【Before】 訪問診療



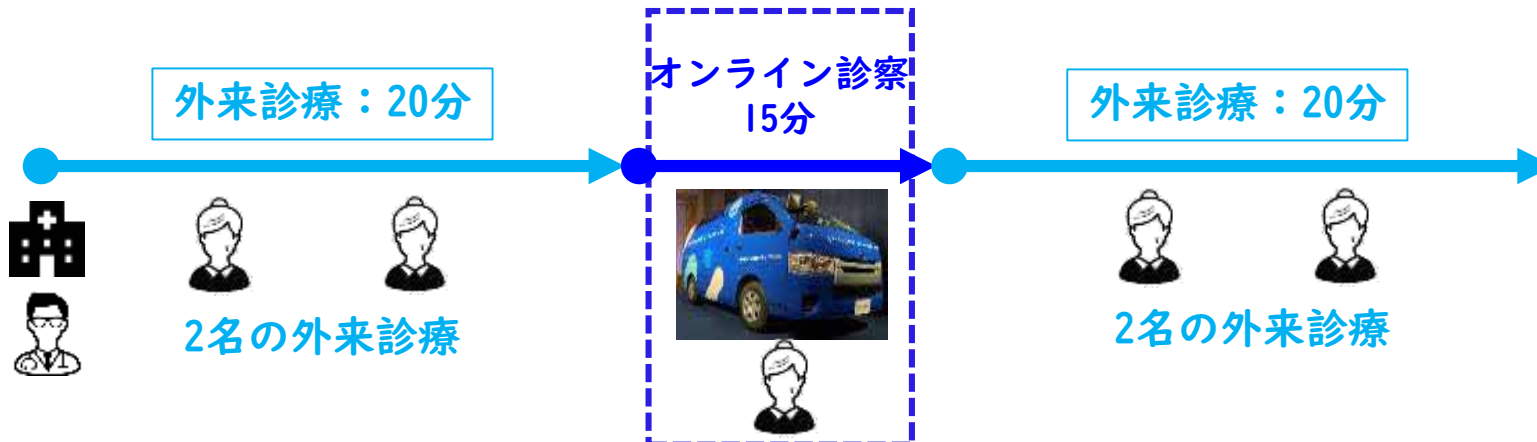
医師の
拘束時間

57分

診察
患者数

1人

【After】 医療MaaS



15分

5人

※上記はあくまで一例となります



3. 網走市医療MaaS導入事例



移動型医療サービス導入の背景と課題

網走市の課題認識

- ・当市が属する北網医療圏 医師偏在指標は**全国・全道ともに下位**にあり、
地域医療を担う**医師数の不足**が深刻化している。
- ・一方で**高齢者等に対する医療ニーズ**が拡大し続けている。
- ・自家用車が主要な移動手段である当地域において、**免許返納後の高齢者**にとって
通院のための**移動負担は大きい**。（**不安も大きい**）

医師不足による医療のひっ迫を回避しながら、
必要な医療を提供していくために、
従来の外来・訪問診療以外の新たな診療手段を構築する必要がある